

投資事業評価調書(新規)

部課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 尾崎 幸忠 (藤井 嘉彦)	内線	4459 (4465)
事業種目	砂防事業	事業名	事業区間	総事業費	1.3 億円
		通常砂防事業 なかおだに 中尾谷川		内地補償費	0.1 億円
所在地			事業採択 予定年度	着工予定 年 度	完成予定 年 度
神戸市中央区 ^{ふきあいちょう} 葺合町			H20	H20	H23
事業目的			事業内容		
土石流対策 ・当溪流は土石流危険溪流に該当し、溪岸の浸食が進んでおり土砂災害の危険性が高まっているため、えん堤工を設置して地域住民の人命、財産、市道、高校、中学校、幼稚園及び病院を保全する。			・砂防えん堤工 1基 (H = 11.0m, L = 36.0m) [負担割合 国:1/2、県:1/2]		
評価視点	評価結果の説明				
(1)必要性 安全、安心	・中尾谷川は土石流危険溪流である。 ・近年の降雨により溪岸の浸食が進み、流域内も広範囲に荒廃している。既設えん堤があるが施設数が少なく、土石流発生時には下流保全人家等に被害を及ぼす可能性がある。 ・保全対象は、人家等394戸(災害時要援護者施設の収容人数の換算戸数を含む)、市道、神戸龍谷高等学校、神戸龍谷中学校、春日野会病院(災害時要援護者施設)、小さき花の園幼稚園(災害時要援護者施設)などがある。 ・地元の土砂災害に対する認識度が高く、事業化への要望が強い。 ・平成19年度には土砂災害警戒区域を指定する予定であり、ソフト面からも土砂災害対策を推進する。				
(2)有効性・効率性 有効性	・人命・財産(人家等394戸)、市道、神戸龍谷高等学校、神戸龍谷中学校、春日野会病院、小さき花の園幼稚園を保全し、事業実施による投資効果は大きい。				
効率性	・地元からの要望が強く、市の協力体制が有るので円滑な事業執行が可能である。				
(3)環境適合性	・県道等からの視認性を考慮し、化粧型枠等により周辺景観に配慮する。また、工事による法面については緑化を図るなど環境保全に努める。				
(4)優先性	・当溪流は土砂災害緊急整備5ヶ年計画に位置付けられている。 ・土石流危険区域には人家等394戸、市道、神戸龍谷高等学校、神戸龍谷中学校、春日野会病院、小さき花の園幼稚園がある。 ・流域状況は荒廃が進み、土砂流出の危険性が高まっているため、葺合町地区の人命・財産等を保全する早急な対策が必要である。				

なかおだにがわ
中尾谷川
 [神戸市]

計画概略図
 縮尺 1 : 5,000



流域面積 $A = 0.06 \text{ km}^2$

中尾谷川

凡例	
	事業実施箇所
	土石流危険区域
	保全人家等



えん堤工 $H=11.0\text{m}$ 、 $L=36.0\text{m}$

高校、中学校

小さき花の園幼稚園

春日野会病院

